

第2回 厚生労働省のEBPM推進に係る有識者検証会

今年度の取組で見えた課題 について

株式会社メトリクスワークコンサルタンツ

2025年2月13日



行政事業レビューシートの点検・助言や効果検証等を実施して見えた課題は以下のとおり

① RSの点検・助言を実施して見えた課題

■ 事業の必要性・重要性が適切に記載されていない

- 現状・課題欄では、理想と現状のギャップ及びそのギャップを引き起こしている原因について、可能な限りデータを用いて記載する必要があるが、適切に記載されていない事業が多く見受けられ、事業を実施する必要性・重要性が確認できなかった

■ 事業の論理構造が適切に記載されていない

- アウトカムが適切(段階的かつ論理的)に設定されていない事業が多く見受けられ、事業の進捗・効果を適切に把握・評価することが困難であった

■ RSに関する知識等が職員に浸透していない

- 各項目の記載内容を根本的に見直す必要がある事業や、行政改革推進本部事務局が作成している執務参考資料に沿えば整理可能な事業も多く見受けられ、RSに関する基本的な知識や執務参考資料の存在が職員に浸透していないことがうかがえた

② 効果検証等を実施して見えた課題

■ 検証に向けたフォローが不十分である

- リサーチデザインを事前に設計していることを踏まえ、設計に変更が生じた際には、適切な代替案を提示・検討するなど、担当部局に対して、効果検証に向けたデータ取得等を継続的に支援してほしい

■ 背景・文脈の把握が不十分である

- 政策を評価する上で、その目的や内容、制度変更を行った要因等、背景となる情報を収集した上で、分析結果を整理・解釈することが望ましい

■ 前向き検証を実践できていない

- 実施上のコストが生じないようなやり方で、厚生労働省の事業の中から、試行的にRCT(ランダム化比較試験)等の「前向き検証」を行うことを検討してほしい

■ コスト観点からの分析が不十分である

- 政策の実装を踏まえると、各政策を実施する上でのコストという観点からも分析してはどうか

■ 受益者視点の効果検証ができていない

- 効果検証に当たって、政策の対象者だけではなく、実際に行政サービスを受ける受益者への効果も検討するなど、広がりのある効果検証アウトカム設定を検討してもらいたい